

## ★パンデミックに対する答えは連帯＝鈴木 頌

日経の18日紙面にビル・ゲイツの提言が形成されている。非常に示唆に富む発言なので私なりに解釈して紹介したい。

### 1. 新型コロナに国境はない

しかし各国政府は自国の対応に集中してしまっている。

### 2. 低開発国で新型コロナを抑え込まれなければパンデミックは終わらない

世界は武漢発の新型コロナを一旦抑え込んだかに見えた。しかしそれはイタリアへと飛び火し、世界に広がっている。

これが第3次流行、第4次流行と続かない保証はないし、それがさらに強力化する危険も否定できない。

### 3. もう一つのグローバリゼーションがもとめられる

それは低開発国、感染症に対して脆弱な国で遷延する可能性がある。

なぜなら経済のグローバリゼーションが、世界に著しい格差をもたらしているからである。

だから私たちはもう一つのグローバリゼーション、新型コロナとのグローバルな闘いにいどまなければならない。

### 4. それは資本の論理とは異なったものでなければならない

最も初歩的な一步は、医療・衛生資源が必要に応じて、効率的に配分されることだ。お金の有無による配分は有害無益だ。

「私は資本主義を強く信じる。けれども、市場はパンデミック下では機能しない」

どのように配分するかはWHOなどの意見に基づいて行われるべきだ。

そのための資源投下を惜しむべきではない。

## 5. すべての人々との連帯

目前の非常事態に対応することは緊急かつ重要である。

しかし賢明に考えればわかるように、世界の貧しい人々のために連帯することは、中長期にはもっと重要なのである。

「このパンデミックの下、私たちは全員がつながっている。だからこそ、私たちは一緒に闘わなければならない」

(2020年04月14日記)